

1 松平定信の政治

- (1) 老中・松平定信は、質素・儉約を旨とする政治を行い、(**寛政の改革**)と呼ばれた。
- (2) 松平定信は、(**株仲間**)を廃止し、田沼時代に荒廃した農村の復興を図った。
- (3) 松平定信は朱子学を官学とし、他の学問を禁じた。これを(**寛政異学の禁**)と言う。
- (4) 松平定信は(**棄捐令**)を出し、旗本や御家人の借金を帳消しにした。
- (5) 松平定信は(**田米の制**)によって、各藩に飢饉に備えて米を備蓄させた。

2 新しい学問

- (6) (**本居宣長**)は「古事記伝」を著し、国学を大成した。
- (7) (**杉田玄白**)・前野良沢は、ドイツの解剖書を翻訳し、「解体新書」を出版した。
- (8) (**伊能忠敬**)は、全国を測量して周り、正確な日本地図を作った。
- (9) (**安藤昌益**)は、士農工商の身分制度を否定し、平等な社会を主張した。
- (10) 国学からは、将軍よりも天皇を重んじる(**尊王思想**)が起こった。

<ワンポイント解説>

- ... 田沼意次は、11代将軍の家斉の下で政治を行った。
- ... また、農民の都市への出稼ぎを禁止した。
- ... 思想の自由が制限され、幕府の政策を批判する者などが処罰された。
- ... また、新規の借金の法定利率を引き下げた。
- ... また、町人と幕府の資金を合わせて、救援基金を作った。
- ... 国学は、儒教や仏教が伝わる以前の日本の思想を明らかにする学問。
- ... 8代将軍・吉宗の時代に洋書輸入が一部認められ、蘭学が興隆した。
- ... 伊能忠敬の地図は「大日本沿海輿地全図」と呼ばれる。
- ... 昌益は、幕府が民衆を搾取するために儒教を利用していると批判した。
- ... 尊王思想は、後の尊王攘夷運動に結びついていく。



【アプリ版のご紹介】中高生の日本史

壬申の乱、壇ノ浦の戦い、六波羅探題、建武の新政、元禄文化、桜田門外の変、、日本史を学ぶ上で絶対に抑えておきたい重要事項を、時代の流れに沿って収録。はじめから順に解いていくことで、日本史の大きな流れを記憶することができます。



【他アプリからオマケの一題】

中高生の古文

助動詞「じ」に接続する用言の活用形はどれ？
(A) 未然形 (B) 連用形 (C) 終止形 (D) 連体形